

G型スプリンクラーヘッド(ガラスバルブ型)

取扱い注意事項

閉鎖型スプリンクラーヘッド 1種
(高感度型、有効散水半径r2.6)
露出型、下向き、SSP

G68-Q80 (68℃) 1種

この度はG型スプリンクラーヘッドをご採用いただきましてありがとうございます

この取扱説明書には、安全かつ正確に設置していただくための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。設置する前に本書をよくお読みになり、充分ご理解いただいた上で設置施工を行って下さい。又、この取り扱い説明書は設置後の保守管理にも必要です。必要時に見られるよう大切に保管して下さい。

スプリンクラーヘッドは消防法の適用下であり、構造、性能はもちろん、設置対象物、設置条件、取扱い及び保守点検についてもその適用を受けます

注意! 安全のために注意事項をまもらないと人身事故や水損事故、火災時の作動不能になることがあります。

施行上の注意

商品をお受け取りになったら

1、商品と数量を確認してください

スプリンクラーヘッド（ヘッド）は、50個を1箱として専用ダンボールケースに梱包しています。ご注文が50個未満の場合、又は50個未満の端数がある場合は、50個未満のヘッドだけ、他の商品が印刷されたダンボールケースに梱包されている場合もあります。（資源の有効利用）その時は必ず、ケース表面に手書きなどで、品名を明記していますので、間違わないようお願いします。

標示温度はヘッドのデフレクター及びダンボールケースに明記していますので、確認して下さい。

2、ヘッドに異常があった場合

品質には万全を期していますが、梱包をといた時や取付け時に、万が一ヘッドに異常があった場合は、その状態のままで即、「担当の営業者」か末尾の「お客様サポートセンター」へご連絡下さい。

ガラスバルブに割れや傷がある物、ヘッドに傷や変形など異常がある物は、設置すると漏水や不時放水、火災時の作動不能の恐れがあります。

3、保管には注意して下さい

ヘッドを保管する時は、湿気が少なく直射日光の当たらない、涼しい場所に保管して下さい。

子供の手の届く所には置かないで下さい。

下記に示す温度以下の状態で保管並びに使用して下さい。

標示温度68℃ 周囲温度39℃未満



これを守らないと、設置後に漏水や不時放水、又は火災時に作動不能となる恐れがあります。

施行設置時の注意

スプリンクラーヘッドの設置は、消防法施行令第12条及び消防法施工規則第13条の2並びに関係法令に沿って行って下さい。

衝撃が加わった物は設置しないで下さい

ヘッドには衝撃を加えないよう注意して取り扱って下さい。落としたり、物が当たったヘッドは設置しないで下さい。ガラスバルブが割れていたり、外傷などによりガラスバルブの充填液が抜けているもの、液が外部に漏れているもの、衝撃が加わったと予想される物も設置しないで下さい。

巻き出し管にヘッドを取り付けての、巻き出し管の加工は、ヘッドに振動や衝撃が加わる恐れがありますので行わないで下さい。

落としたり衝撃が加わったヘッドを設置すると、漏水や不時放水などの事故が発生する恐れがあると共に火災時作動不能になる危険性があります。

スパナに注意して下さい。

ヘッドを配管に取り付ける際にはJIS（日本工業規格）の22mmの片口スパナを使用して下さい。モンキーレンチは絶対に使用しないで下さい。

又、取り付け作業中にスパナを滑らせ、ガラスバルブ部に当てないように充分注意して下さい。

ガラスバルブに当たった場合は、ガラスバルブに損傷がなくても、そのヘッドは絶対に使用せずに新しい物と交換して下さい。

取り付け中にガラスバルブにスパナが当たった物をそのまま使用すると漏水や不時放水又は火災時に作動不能となる恐れがあります。

仕様に適した物を設置して下さい。

このスプリンクラーヘッドは標準下向きで感度種別は"1種"です。設計上の仕様と異なる場合は、仕様に合った物を設置して下さい。

取付場所の最高周囲温度に適した標示温度の物を設置して下さい。

注意!

設計に応じた仕様と異なるヘッドを設置した場合、火災発生時に消火が困難な場合があります。また標示温度の間違ひは作動の遅れや不時放水の恐れがあります。又、急激な温度変化のあると思われる場所へ設置する場合は、事前に当社へご相談下さい。

配管内の水に注意して下さい。

配管内の水は、水道水を使用し、配管内に残留空気のないように、十分にエア抜きを行ってください。また配管内部は十分にフラッシングをして、ゴミや異物を取り除いて下さい。

配管内に異物があると、ヘッド作動放水時に異物が詰まって、放水不能となる恐れがあります。

配管内の水の冬季凍結に注意して下さい。

配管内の水は絶対に凍結しないように注意してください。このヘッドは湿式のスプリンクラー設備用のものです。配管内の水が凍結しますとヘッドが破壊されます。

検定証票は取らないで下さい

ヘッドのフレーム部に貼り付けてあるシールは、消防法によって義務付けられた、個別検定合格証票です。はがさずに付けたままで設置して下さい。

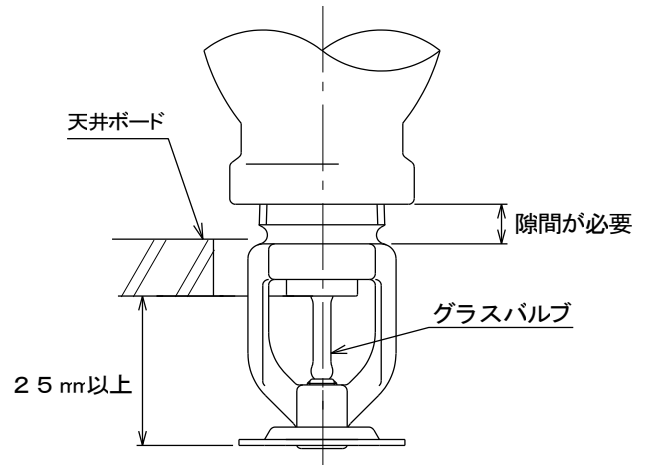
ヘッドは熱を感知して作動します

ヘッドは外部からの熱を感知して作動、放水します。従ってヘッドを火であぶるなど、火を近づけないで下さい。また、熱風、アイロン、ハンダゴテなどで加熱をしないで下さい。即、作動放水します。またヘッドへの塗装や、加工はしないで下さい。火災時に作動不能の恐れがあります。

ヘッドに物を引っ掛けたり、ぶら下げたりしないでください。漏水、不時放水の恐れがあります。

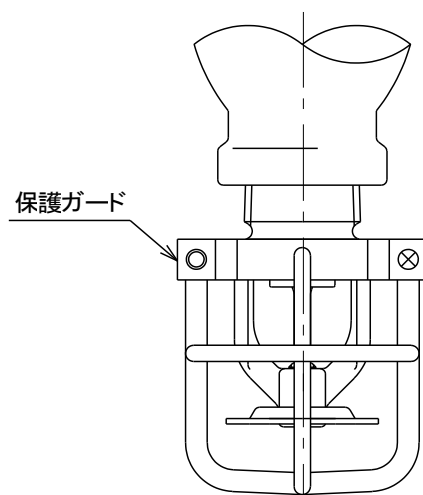
正しく設置して下さい。

天井ボードを取り付ける場合、ヘッドは図の取付範囲で設置して下さい。ヘッドが天井に引っ込み過ぎると、火災が発生した場合、熱感知が遅れて初期消火が困難となります。又、作動時には天井ボードがじゃまになって、十分な散水が得られません。



ヘッドが天井に入り込み過ぎていると、十分に散水できず、火災が発生しても消火が困難な場合があります。

人の手のとどく場所や、物が当たりやすい位置に取り付けられるヘッドには、保護ガードを取り付けて下さい。



保護ガードを付けたからとはいえ、故意に棒でたたいたり、つついたりする事には耐えられなく、作動不能又は、漏水や不時放水の原因になります。

スプリンクラーヘッドをスプリンクラー設備等の消火設備以外の目的に使用しないで下さい。

維持管理上の注意

○スプリンクラーヘッド（ヘッド）をライターなどであぶるなど、火を近づけないで下さい。又、アイロン、ハンダゴテなどで加熱をしないでください。即、作動放水します。

○ヘッドは消防法に規定する、最高周囲温度の範囲内で使用して下さい。最高周囲温度を越える環境では、不時放水の恐れがあります。

○冬季は配管内の水が凍結しないように注意して下さい。このヘッドは湿式のスプリンクラー設備用のものです。配管内で水が凍結しますとヘッドが破壊されます。

○人の手のとどく場所及び、物がぶつかりやすい位置に取り付けられているヘッドには、専用の保護ガードを取り付けて下さい。

尚、ヘッドにガードを付けても、故意に棒でたたいたり、つついたりする事には耐えられず、作動不能又は、漏水や不時放水の恐れがあります。

○ヘッドには塗装や着色をしたり、粘着テープなどを貼り付けしないで下さい。ヘッドの性能に悪影響を及ぼします。

○ヘッドの設置場所の改装、間仕切り、用途変更をする際には事前に担当の営業者又は、お客様サポートセンターにご相談下さい。

○ガラスバルブの充填液が抜けて白く見える物や変形や傷の付いたヘッドは、新しい物と取り替えて下さい。作動不能や漏水、不時放水の原因になります。

○ヘッドの点検、取り替え及び、清掃は事前に担当の営業者又は、お客様サポートセンターにご相談下さい。

○ヘッドの作動時には、部品の一部が飛散落下しますの

で、注意して下さい。又、作動したヘッドは後の調査資料とする場合がありますので、部品を含め回収して作動時の状態のまま、大切に保管して下さい。

○予備品として保管するヘッドは、湿気の少ない場所で、直射日光の当たらない涼しい所に保管して下さい。

○ヘッドに貼り付けているシールは、消防法によって義務づけられた個別検定合格証票です。はがさないで下さい。

○ヘッドをスプリンクラー設備等の消火設備以外の目的に使用しないで下さい。

アイエススプリンクラー株式会社
お客様サポートセンター
TEL 0736-37-5835
FAX 0736-37-5836

「E型スプリンクラーヘッド取扱い注意事項」

製作、著作 アイエススプリンクラー株式会社

2025.11.5